

出期限（時刻）までにその旨をお電話で03-5226-6608まで必ずご連絡くださいますようお願い致します。提出期限までにご連絡がなく、機構がプロポーザルを受信できていなかった場合は、該当のプロポーザルは評価対象と致しかねます。

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出5営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

◇ 評価結果の通知：2023年7月24日（月）までに個別通知
提出されたプロポーザルをJICAで評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
- ① 業務実施の基本方針 16点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制 4点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
- ① 類似業務の経験 40点
 - ② 対象国・地域での業務経験 8点
 - ③ 語学力 16点
 - ④ その他学位、資格等 16点
- (計 100 点)

類似業務経験の分野	物流事業、物流設備、物流システム/データに係る各種調査
対象国及び類似地域	キューバ及び全途上国
語学の種類	英語（スペイン語ができると望ましい）

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：黄熱に感染する危険のある国から、または黄熱に感染する危険のある国で12時間以上の乗り継ぎがある場合は、黄熱予防接種証明が入国に要求されます。

6. 業務の背景

キューバ国は、国内交通インフラ・施設の整備、交通サービス産業の投資が不足しており、運輸交通サービスの効率化において課題を抱えている。世界銀行が実施している世界各国のロジスティクスパフォーマンス評価（2023年）では、ワースト10に入っており、物流システムの改善が緊結な課題となっている。キューバは社会主義政治体制下において独自の貨物輸送計画システム（Balance de

Cargas) を構築している。一方で、不十分な計画及び関係組織との調整不足による非効率な運営が、輸送コストの最小化を妨げている。特に、輸送に不可欠である燃料を輸入に頼っており、COVID-19 の影響で深刻な燃料不足に直面していることから、輸送効率の向上による燃料利用の最適化が国家の重要課題となっている。また、輸送計画・実績等の輸送に関する情報のデジタル化が出来ておらず、需要の特定や輸送業務・サービス改善のための情報分析及びモニタリングが不十分なため、ICT を活用した貨物輸送計画システム (Balance de Cargas) のデータベース構築も優先課題である。加えて、同国は、2025 年をピークに人口が徐々に減少し、2030 年には 60~80 歳の人口率が 24%になる見込みである。そのため、高齢化による運輸セクターの人材不足に備え、ICT 技術を用いた貨物輸送の効率化に対応できる高度人材の育成も求められている。

このようなキューバ国の物流課題に対し、JICA は開発計画調査型技術協力「全国運輸マスタープラン策定プロジェクト (2018-2022)」の実施を通じ、同国にある 3 つの上位政策に基づいてマスタープランを策定した。同マスタープランのロジスティクスセクターの中期計画には、「輸送計画システムのデジタル化」、「輸送事業関係者間の調整」、「ロジスティクス分野の人的能力開発」にかかるプロジェクトが含まれている。そのため、同マスタープランの中期計画に沿って貨物輸送計画システム (Balance de Cargas) の最適化を実施する必要がある。

かかる状況を踏まえ、同マスタープランの内容をもとに貨物輸送計画システムの改善及びそのシステムのデータベース化に向けた能力強化の実施要請が、キューバ国運輸省貨物輸送分析・開発部 (MITRANS) から我が国へ要請された。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される JICA 職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2023 年 8 月上旬~2023 年 8 月中旬)

- ① 要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析により要請背景・内容を把握する。
- ② 我が国及び他援助機関のこれまでの協力状況・成果・課題を確認する。
- ③ 担当分野にかかる調査計画、方針案、面談先等を検討し、調査日程(案)を作成する。
- ④ 現地調査で収集すべき情報を整理・検討する。
- ⑤ 本格協力にむけた方針にかかる担当分野関連部分を検討する。

- ⑥ キューバ政府関係機関や他ドナー等に対する質問票（案）（英語）を作成し、現地派遣前に JICA に提出する。
- ⑦ 担当分野に係る対処方針（案）（和文）を検討した上で、JICA が開催する現地渡航前の対処方針会議等に参加し、担当分野に係る調査計画・方針案を整理のうえで、JICA に提出する。

（2）現地業務期間（2023年8月中旬～2023年9月上旬）

- ① 現地業務開始時に、JICA キューバ事務所、キューバ側関係機関に調査計画・方針案を説明する。
- ② 現地調査、質問票の回答内容、キューバ側関係機関との協議を通じて以下の物流業務の実態の確認および課題分析を行う。
 - ア) 貨物輸送計画システム（Balance de Cargas）に基づいた輸送計画作成にかかる組織間調整の実態
 - イ) 荷主と輸送事業者間の情報交換及び業務フローの実態
 - ウ) 物流情報処理にかかる記録の確認及び解析
 - エ) 貨物輸送計画システム（Balance de Cargas）の詳細
- ③ 現地調査、質問票の回答内容、キューバ側関係機関との協議を通じて以下の物流設備および通信設備の実態を確認し、課題分析する。
 - ア) 倉庫などの物流設備の現状
 - イ) 通信設備および通信環境の現状
- ④ 現地調査、質問票の回答内容、キューバ側関係機関との協議を通じて以下の輸送コストの実態を確認し、課題分析する。
 - ア) 輸送事業者のコスト構造（財務諸表等）
 - イ) 輸送距離、時間および燃料消費
 - ウ) 輸送車両等の積載
 - エ) 輸送コストの最小化にかかる課題の整理
 - オ) 追加コストが発生する原因の整理
- ⑤ 担当分野にかかる情報・資料の収集、現状把握と分析、課題の整理 既存調査結果等のレビューを通じて、効率的に整理を行うものとする。
 - ア) 社会経済フレームワークの現状
 - イ) 関連計画、政策、統計データの現状
 - ウ) キューバにおける公共輸送サービスの現況
 - エ) 主な経済活動、インフラ整備事業
 - オ) 我が国の協力実績と開発調査の活用状況、教訓
 - カ) 能力開発にかかる優先課題の整理

- ⑥ 本格協力にかかる以下の内容について、担当分野の観点から検討する。
 - ア) 協力量針の検討（プロジェクトの狙い、能力開発の方針を含む）
 - イ) プロジェクトの内容、実施体制にかかる提言
 - ウ) プロジェクトの投入、先方負担事項にかかる提言
 - エ) 再委託の範囲の検討、現地再委託を請け負う可能な組織、業務実施単価に関する情報の収集
 - オ) プロジェクトの協力量針にかかる協議への参加、助言
 - カ) プロジェクトの実施に向けた留意事項（ICT活用、本邦技術活用、研修事業との連携、第三国協力等）
 - キ) プロジェクト実施にあたり、リスクとなる事項の整理
- ⑦ キューバ側関係機関との協議に出席し、担当分野の範囲からのコメント等を行うとともに、担当分野に係る議事録、面談録及び収集資料リストの作成に協力する。
- ⑧ 担当分野に係る現地調査結果を JICA キューバ事務所等に報告する。

(2) 帰国後整理期間（2023年9月上旬～2023年9月中旬）

- ① 担当分野の観点から、PDM案、PO案、R/D（Record of Discussions）案の作成に協力する。
- ② 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③ 担当分野にかかるリスク管理チェックシート（案）の作成に協力する。
- ④ 担当分野に係る詳細計画調査報告書（案）を作成する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

業務完了報告書（和文）

2023年9月25日（月）までに JICA 社会基盤部都市・地域開発グループ第二チーム宛に提出。担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）を添付し、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン（2022年4月-2023年4月追記版）」の「X. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

航空経路は、日本⇄メキシコシティ⇄ハバナを標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務期間は2023年8月20日～9月9日を予定しています。

ただし、キューバ査証取得が遅れる場合、現地業務の開始が遅れる可能性があります。本業務従事者は、JICAの調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 協力企画（JICA）

ウ) 物流計画（JICAが別途契約するコンサルタント）

エ) 輸送システム計画（本コンサルタント）

オ) 評価分析（JICAが別途契約するコンサルタント）

③ 便宜供与内容

JICA キューバ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎：あり

イ) 宿舎手配：あり

ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上：英語⇄スペイン語の通訳を提供可

オ) 現地日程のアレンジ：JICA が必要に応じアレンジします。なお、JICA 団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイントメントの取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を社会基盤部都市・地域開発グループ第二チームから配付しますので、jicaim@jica.go.jp 宛にご連絡ください。

- ・要請書（スペイン語、日本語仮訳）
 - ・案件概要表（詳細計画策定調査前）
 - ・キューバ国 全国運輸マスタープラン策定プロジェクト最終報告書
- ② 本契約に関する以下の資料を JICA 調達・派遣業務部契約第一課にて配付します。配付を希望される方は、専用アドレス（e-propo@jica.go.jp）宛に、以下のとおりメールをお送りください。
- ア）提供資料：「独立行政法人国際協力機構 サイバーセキュリティ対策に関する規程（2022年4月1日版）」及び「サイバーセキュリティ対策実施細則（2022年4月1日版）」

イ）提供依頼メール

・タイトル：「配付依頼：サイバーセキュリティ関連資料」

・本文：以下の同意文を含めてください。

「標記資料を受領した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

（3）その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA キューバ事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 本業務については新型コロナウイルスの流行の状況や先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具

体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上決定することと致します。

以上